

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月23日(金)

事務事業		公民館事業		担当課	生涯学習スポーツ振興課	担当係	生涯学習係	管理番号	73151	
総合計画	大項目	2	次代を担う人と文化を育むまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	2	誰もが生きがいをもち学ぶことのできるまちづくり	根拠法令 個別計画等	社会教育法第22条					
	小項目	1	生涯学習の推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		市民を対象として、市内12公民館において、市民が求める生涯学習の場を提供することで、気軽に継続する学習活動に取り組めるよう図る。・クラフト教室、パソコン教室、スキー教室、料理教室、そば打ち教室、絵手紙教室、バスハイキング、歴史探訪、陶芸教室、ハーブ教室等								
目的 ※何のために		市民の生涯学習の場を提供するため								
対象 ※誰・何を対象に		市民								
手段 ※どのように		市内12公民館において学級講座を開催する。								
成果 ※何を求めるか		市民が気軽に学習活動及び文化活動に取り組めるよう図る。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)		
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	3	公民館費	学級講座等開設事業[深谷公民館]	203,473
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	3	公民館費	学級講座等開設事業[藤沢公民館]	339,324
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	3	公民館費	学級講座等開設事業[幡羅公民館]	170,571
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	3	公民館費	学級講座等開設事業[明戸公民館]	31,200
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	3	公民館費	学級講座等開設事業[大寄公民館]	150,821
本事業の 主な業務		・学級講座の開催					・			
		・家庭教育講座の開催					・			
		・					・			
		・					・			
		・					・			
		・					・			

2. 事業費(投入コスト)

単位:円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		学級講座の開催家庭教育講座の開催	学級講座の開催家庭教育講座の開催				
事業費	予算(現額)	3,930,000	4,618,000	5,227,000	0		
	決算額	1,786,123	2,325,173	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	0	0	0		
	一般財源	1,786,123	2,325,173	5,227,000	0		
人件費	従事職員数(人)	0.05	0.05	0.05			
	人件費相当試算※	393,478.00	400,509.00	418,045.00			
総事業費試算		2,179,601	2,725,682	5,645,045	0		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	学級講座開催延べ回数	目標値	回	300.00	300.00					
		実績値		303.00	396.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			過去の実績をもとに、現状維持を目標とする。 / 事務事業執行状況表						
	実績値の算出式									
成果指標 1	学級講座参加者数	目標値	人	14,400.00	14,400.00					
		実績値		9,565.00	35,718.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			各公民館平均年間1,200人とし、14,400人を目標値として設定する。 / 事務事業執行状況表						
	実績値の算出式									
成果指標 2	公民館利用者数	目標値	千人	600.00	600.00					
		実績値		493.94	571.20					
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	令和5年度から公民館における各事業が再開し、学級講座開催延べ回数(396回)は、目標値(300回)を上回ることができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	各公民館の学級講座等の再開により、学級講座参加者数(35,718人)は、目標値(14,400人)を大きく上回ることができた。 また、公民館利用者数(571,200人)も目標値(600,000人)に近い実績となっている。
			評価者 生涯学習係長 荏塚 文彦

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	学級講座の参加者の多くは高齢者であるため、講座申し込みの際の電子申請の活用は困難なものとするが、一方で、試行的に電子申請を取り入れている館もある。今後、参加者のニーズを把握し柔軟に対応できるよう事務改善に努める。
			評価者 生涯学習係長 荏塚 文彦

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和4年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	公民館事業	担当課	生涯学習スポーツ振興課	担当係	生涯学習係	管理番号	73151
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		令和7年度から公民館の運営を指定管理者が行うことから、当該事業は終了となる。 学級講座等の事業については、引き続き、住民ニーズに合致した展開ができるよう指定管理者に期待する。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	生涯学習スポーツ振興課長 荻塚 洋明				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和6年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和7年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

